

琉球大学病院 がんセンター  
令和2年度（2020）がん患者等支援事業

# がん情報及び地域がん医療説明会 「もしも渡名喜島でがんになったら」 に関する報告書

2020年11月10日

地域の療養情報「おきなわ がんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を渡名喜島で実施した。渡名喜村におけるがん医療の在り方について、渡名喜村長及び関係者らと協議した。

また、講師をされる県立南部医療センター・こども医療センター附属 渡名喜診療所の医師とも同様の協議を行った。

その後、地域の住民を対象にがん情報提供の講演会および相談会を実施した。

### ■渡名喜村におけるがん医療の在り方についての協議

(渡名喜村役場)

日 時：令和2年11月10日（木）13：00～14：10

場 所：渡名喜村役場

出席者：渡名喜村 村長	桃原 優 様
渡名喜村役場 民生課	桃原 さとみ 様
渡名喜村役場 民生課 保健師	蔵元 彩花 様
琉球大学病院がんセンター センター長	増田 昌人
琉球大学病院がんセンター 事務補佐員	東 啓子

(県立南部医療センター・こども医療センター附属 渡名喜診療所)

日 時：令和2年11月10日（木）16：05～17：10

場 所：渡名喜診療所

出席者：渡名喜診療所 医師	富名腰 朝史 様
琉球大学病院がんセンター センター長	増田 昌人
琉球大学病院がんセンター 事務補佐員	東 啓子

### ■がん情報及び地域がん医療説明会「もしも渡名喜島でがんになったら」

日 時：令和2年11月10日（木）18：00～19：40

場 所：渡名喜村多目的施設ホール

参加人数：29人

内 容：(1) 講演「がん情報のさがし方勉強会 in 渡名喜島」  
琉球大学病院 がんセンター長 増田 昌人  
(2) 講演「渡名喜島でできるがん医療」  
県立南部医療センター・こども医療センター附属  
渡名喜診療所 富名腰 朝史 様  
(3) 質疑応答

### ■個別相談

日 時：令和2年11月10日（木）19：35～19：50 ※講演会終了後

場 所：渡名喜村多目的施設ホール

相 談 者：2人

※感染対策として、入場時に、入口にて手指のアルコール消毒、受付で検温・体調確認・連絡先の記入をお願いした。記入用ボールペンは、“消毒済”と“使用后”の分けて設置し、常にアルコール拭きで消毒したものを使用してもらうようにした。  
また、席は間隔を空けて1席ずつ配置し、資料も事前に席へ配布しておいた。  
会場内はエアコンを使用した。窓や扉を解放して換気するようにした。



**国民の2人に1人はがんになる時代です。**

いざというとき、自分の納得いくかたちで  
病気と向きあうために、がん治療の現状も  
交えながらお話しします。

もしもに備えて考えてみませんか？  
どなたでも、お気軽にご参加ください。



療養場所ガイド7  
本島周辺の離島編

# もしも渡名喜島で がんになったら



がん専門医が伝える  
病院・診療所の上手なかかり方

## 【説明会】



渡名喜村のみなさまへ  
がん診療の疑問や不安を解消する説明会を  
渡名喜島で開催します。  
地元の診療所でどんな治療ができるのか、  
がん情報がしのコツを、専門家の立場から  
お話しします。  
がんはすべての人にとって身近な病気です。  
情報は“力”となり療養生活を支えます。  
まずは「知る」ことから始めませんか。

琉球大学病院 がんセンター長  
増田 昌人

※終了後、希望者には医師による個別がん相談対応あり

県立南部医療センター・こども医療センター附属

- ・渡名喜島でできるがん医療について 渡名喜診療所 富名腰 朝史先生
- ・病院のかかり方、情報の集め方 琉球大学病院がんセンター長 増田 昌人

日時: **11月10日(火)午後6時～7時30分**(午後5時半開場)

場所: **渡名喜村多目的施設ホール**

対象: 渡名喜村にお住まいのみなさん 参加費: 無料



主催: 琉球大学病院がんセンター 沖縄県がん患者等支援事業

◆◆◆ 新型コロナウイルスの状況により延期や中止の場合もあります ◆◆◆

内容に関するお問い合わせ：渡名喜村役場 民生課 ☎ 098-989-2317  
：琉球大学病院 がんセンター ☎ 098-895-1531

- 広報手段：渡名喜村役場の協力で、チラシを全世帯へ配布  
役場及び診療所、島内掲示板へのポスター掲示  
防災無線による島内放送  
渡名喜診療所による来院者への周知

増田先生スライド表紙など

がん情報のさがし方勉強会  
in 渡名喜島

「おきなわがんサポートハンドブック」  
「がん患者さんのための療養場所ガイド」

琉球大学病院 がんセンター  
増田 昌人

富名腰先生スライド表紙など

渡名喜島でできる  
がんの医療

渡名喜診療所  
富名腰朝史

がんに対する情報をどこで得るか？

1. 主治医やその他の医療者から、情報をとことん得る
  - ・ 主治医や担当看護師等の医療者は、患者さんの状況に基づいて、最も適した情報を提供してくれる存在
  - ・ 本当に必要なのは、患者さんの現在、または将来の状況に基づく、個別化した情報であり、一般的な情報ではない
2. 別の医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」を活用する
3. がん診療連携拠点病院の「がん相談支援センター」を活用する
4. 書籍を活用する
  - ・ 推奨できるものは限られているので、信頼できるもののみを閲覧する  
(詳細は後述)
5. インターネットを活用する
  - ・ 推奨できるものは限られているので、信頼できるもののみを閲覧する  
(詳細は後述)

2020/11/10

がん情報のさがし方勉強会in渡名喜島

沖縄県民の死因



もっとも多いのが  
「がん」

最後に

1. 万が一の時に備えて、
  - (1)再発した場合のこと
  - (2)治療が難しくなった場合のこと
  - (3)最期を迎える場所（渡名喜島の自宅 or 本島の病院）を、家族や大切な人と相談しておく
2. 相談して決めたことを、紙に書いて、日付と署名と印鑑を押しておく

\* がんになってもならなくても、普段から自分自身がどのような医療を望むのか、人生の最期はどのように迎えたいのかを考えておくこと、その考えを家族や大切な人に伝えたり、相談したり、理解を得ておくこと、その結果を文書に残しておくことは、とても大切なことです  
(≒アドバンス・ケア・プランニング)

2020/11/10

がん情報のさがし方勉強会in渡名喜島

診療所でできること



がんの心配・不安について相談  
がんに関する、問診・診察  
がんに関する、「正しい情報」の提供



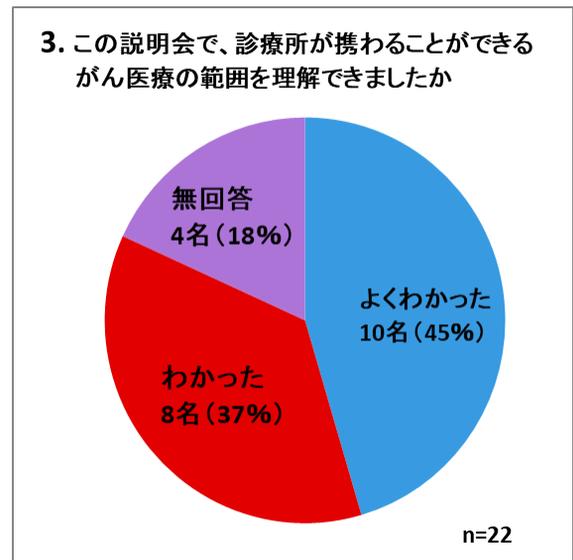
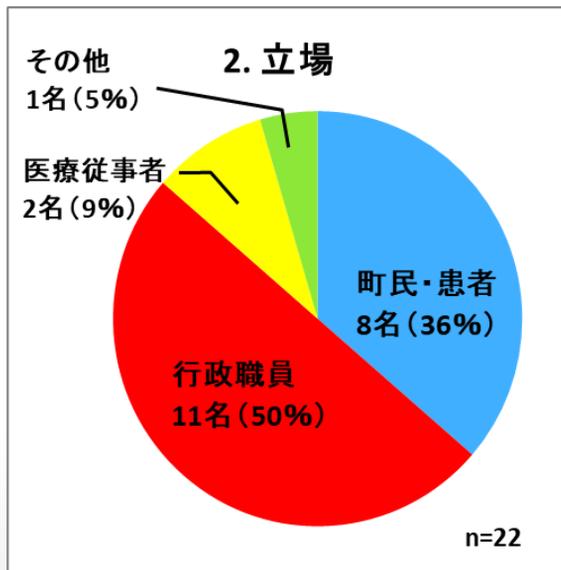
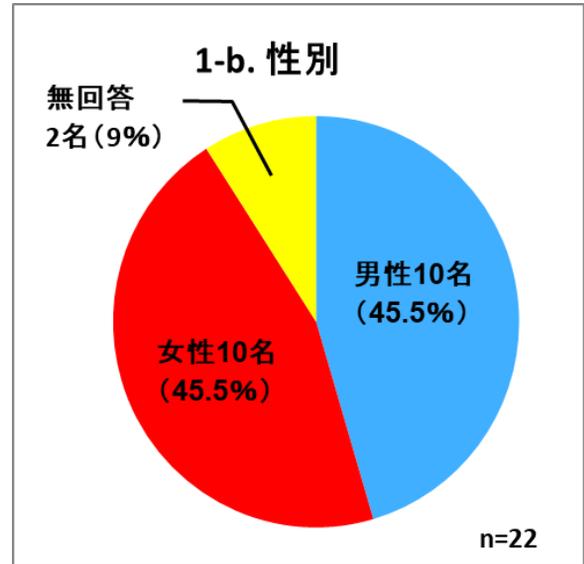
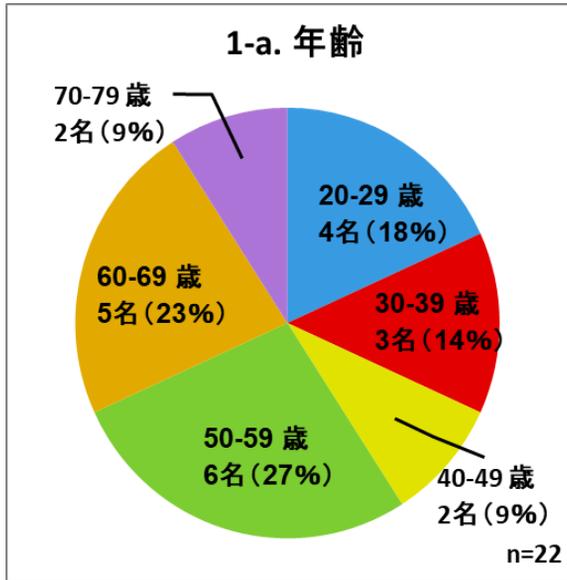
がんを予防する治療  
禁煙外来 節酒指導 ビロリ菌除菌

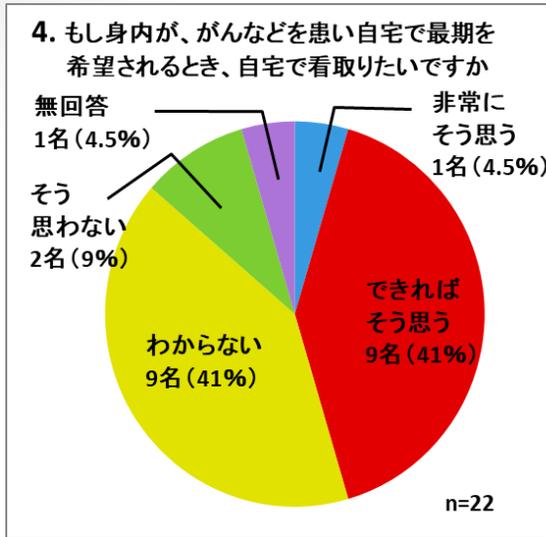


病院と地域の連携  
訪問や緩和ケアによるサポート



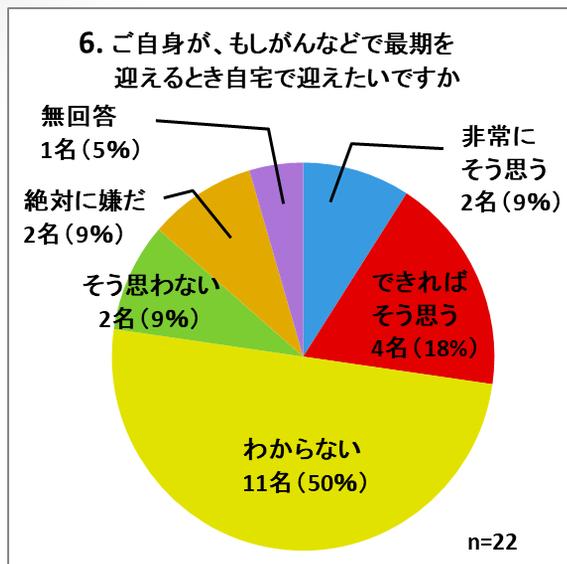
参加者29人 アンケート回収22人 アンケート回答率76%



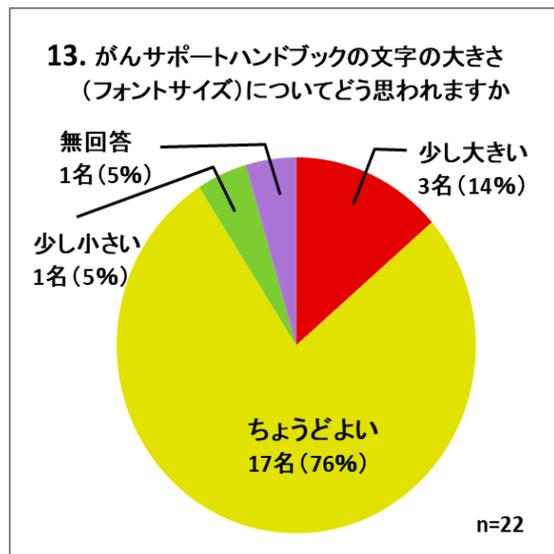
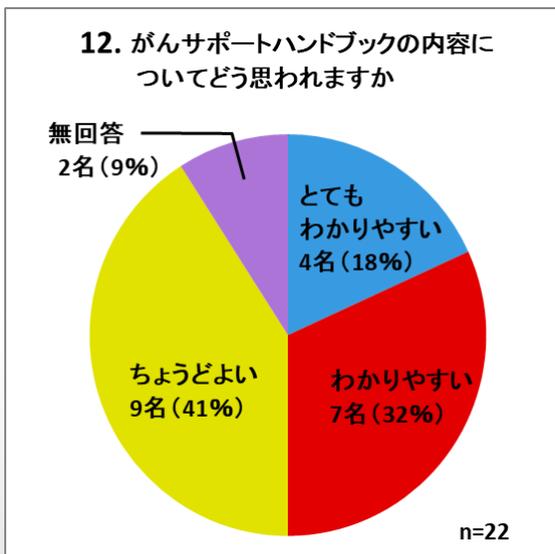
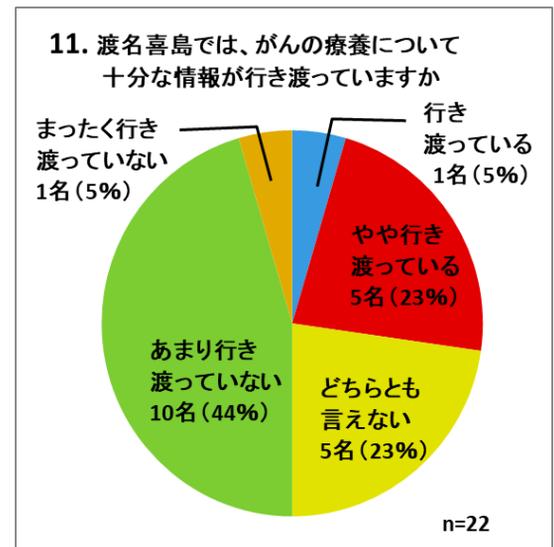
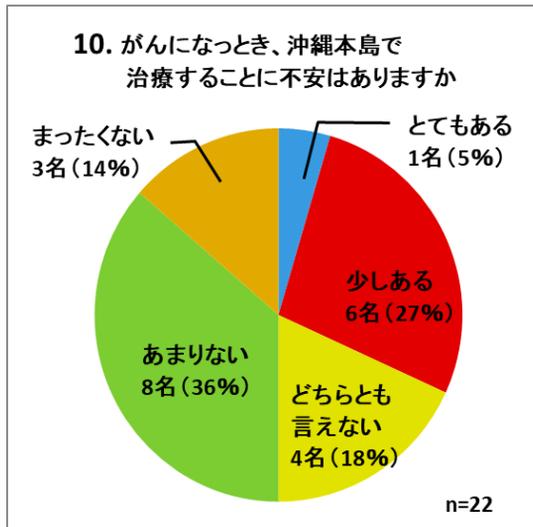
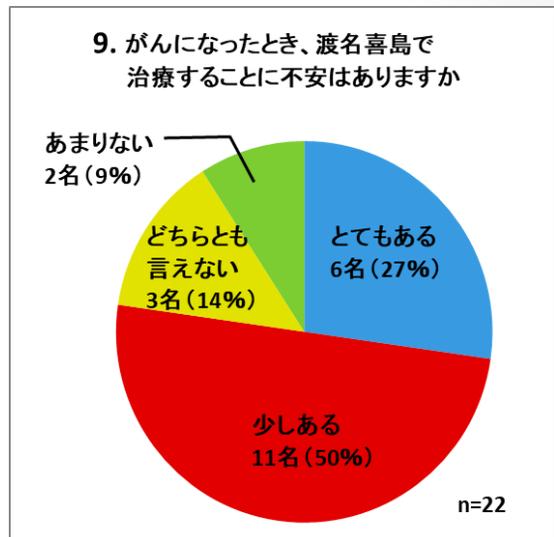
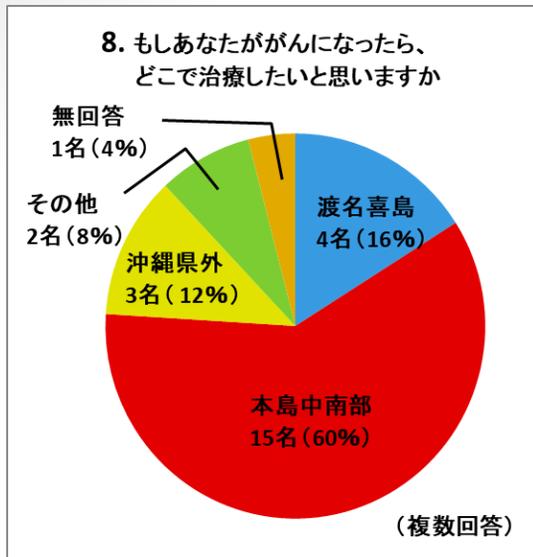


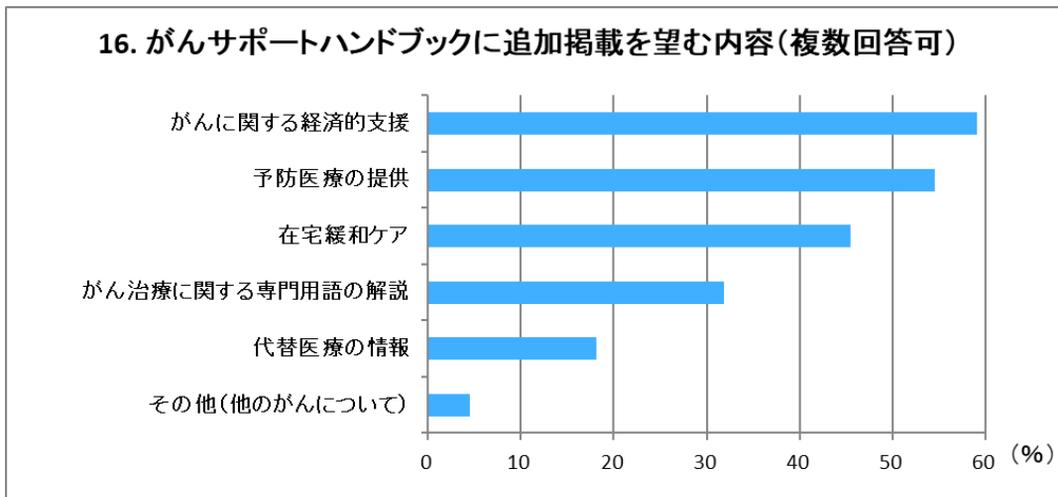
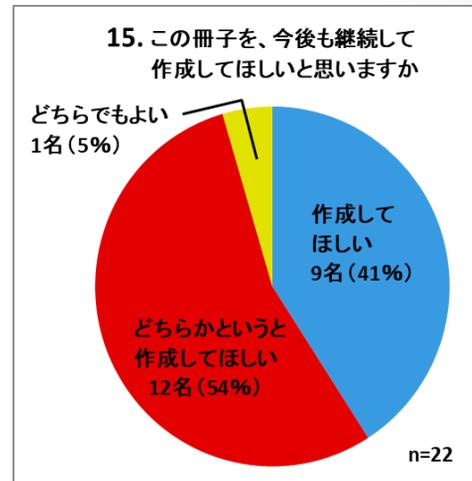
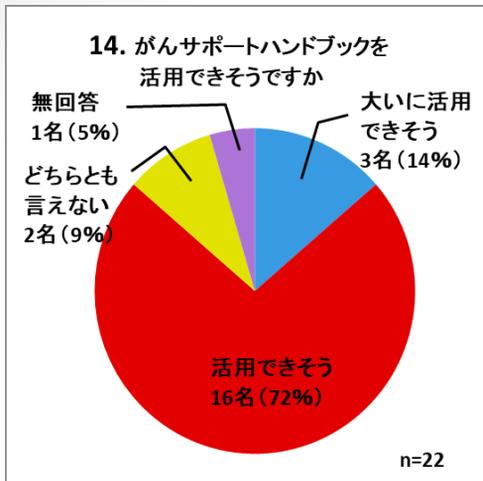
**5. 4の理由を教えてください。**

本人の意思を尊重したいから。
住み慣れた場所で最期を迎えるのがいいのかな、と思うから。
本人の意思を尊重したいため。
その時の状況と色々な余裕がほしいと思うため。(金、周りの協力、職場のりかい等)
離島村のため、看取り後の対応が大変。元気な内(歩ける)に帰島
今はどちらともいえない。
仕事をしていたらむづかしいかも。支援の方法をもさくしていきたい。その人が生きてきてよかったと感じてほしい。
特に理由はない。
家族に見とられて死にたい。
看護や医療的な知識があれば、自宅で看取りだと思ふ。
家族との最後すごせるから、最期まで支援しながら、最後すごさせたい。できるだけ。
平成28年に同居していた父を肺がんで亡くしました。最後に介護付老人ホーム(看取付)から容体が悪くなり、入院一週間後に亡くなりました。つくづく自宅ではなく病院で良かったと思います。父が亡くなった悲しみの中で本島へ遺体を送る手続きなどおちついてできない。死後の事務処理がたいへんでした。
出来れば自宅で最後まで生活させてあげたいのですが、見てあげる事が出来るか不安である。
現状では、サポートが足りないのでは？
本人の希望を大事にしたいと考えるから。
自分自身も高齢であるため、介護に対して不安である。
本人との相談の上で考えて行きたい。最後は家族でコミュニケーション取りながらみとどけたい。



7. 6の理由を教えてください。
実際になってみないと分からない。
5.と同じ(住み慣れた場所で最期を迎えるのがいいのかな、と思うから。)
治療を受けていくうちに、気持ちが固まっていくと考えられるため。
一人暮らしのため。
離島村の為、家族に迷惑をかけるため。
今はどちらともいえない。
家族の声をききながら、最後をむかえたい。
特に理由はない。
最後はトナキ(自宅)で迎えたいが現実的には無理ですね。医療的面等まわりに迷惑をかけてしまう。
家族の負担が大きいと思うから。
自身の時は病院で。家族にふたんになるから。
私は独身で一人暮らしなので病院で死にたい。家族ない中でがんと一人でたたかうのが不安。がんとたたかうのではなく自然に向き合う事を知りました。頑張らなくていいと。。
長年住みなれた家・家族と暮らしたい。しかし、家族に負担もかけたくない。
その時の状況による。
日常生活を送っている場所で迎えたいと考えますが、家族の負担を考えると迷います。
家族に負担をかけたくない。
家族とコミュニケーションを図れるから。子供や孫達と一緒に話が出来ればよいかな。





**17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。**

非常に有意義な時間でした。本当にありがとうございました。

とても丁寧で分かりやすい講演でしたが、講演時間が長かった。島外で入院治療し退院する場合、以前よりADL低下があるときは、診療所あるいは役場に事務員が欲しい。

がんに対するイメージがわかる程、よかった。  
がんになったら島で生活しながら治療したいと思った。

診療所の役割を再度確認する機会になりました。  
島民が安心して島ですごすために、どのようにかわっていったら良いかを考える事ができました。

夕方なので早く帰りたい。昼にしてほしい。内容は良かったです。

診療所でがんの治療ができる事を初めて知りました。  
今回の説明会は自分がもしもがんになった場合、とても役に立つ説明会でした。  
資料も良かったです。増田先生のお話しも分かりやすかった。

診療所を活用する事は考えていなかったもので、とても勉強になりました。

病院へのお願いですが、医師や看護師があまりに事務的な話し方をしないで欲しい。  
がん患者に対してあまりの感情移入は必要ではありませんが冷たい感じがします。

新しい知識提供ありがとうございました。

診療所医師への相談の大事さを理解することができました。

■ 渡名喜村におけるがん医療の在り方についての意見交換

（渡名喜村役場）

渡名喜村 村長

渡名喜村役場 民生課

渡名喜村役場 民生課 保健師

桃原 優 様

桃原 さとみ 様

蔵元 彩花 様



（県立南部医療センター・こども医療センター附属 渡名喜診療所）

富名腰 朝史 先生



■ がん情報及び地域がん医療説明会 もしも渡名喜島でがんになったら  
講演：「がん情報のさがし方勉強会 in 渡名喜島」  
琉球大学病院がんセンター長 増田 昌人



講演：「渡名喜島でできるがん医療」  
県立南部医療センター・こども医療センター附属 渡名喜診療所  
富名腰 朝史 先生



質疑応答

閉会の挨拶：  
渡名喜村役場  
桃原 優 村長

受付：  
手指アルコール消毒、  
検温、体調確認、連絡先



令和2年11月16日（月）付 渡名喜島 Facebookへ投稿あり



渡名喜島さんが11月16日の写真3件を追加しました。  
昨日 · 〇 · 〇

がん専門医が伝える病院・診療所の上手なかかり方  
~もしも渡名喜島でがんになったら~説明会が開催されました！

11月10日(火)18時~渡名喜村民約25名が参加しました。

琉球大学病院がんセンター長増田昌人先生に来島頂き  
【病院のかかり方、情報の集め方】について

次に渡名喜診療所の富名腰朝史先生から  
【渡名喜島でできるがん医療】についてお話がありました。

お二方のお話で共通していたことは  
インターネットの情報を鵜呑みにするのではなく  
主治医とよく話しコミュニケーションをとることが大切だということ。

参加した村民からは  
がんは遺伝するのか、どの病院で診てもらうのが良いのか等質問があり  
離島だからこそ直面する医療体制について考える良いきっかけとなりました！



琉球大学病院 がんセンター  
令和2年度（2020）がん患者等支援事業

# がん情報及び地域がん医療説明会 「もしも竹富島でがんになったら」 に関する報告書

2020年11月26日

地域の療養情報「おきなわ がんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を竹富島（竹富町）で実施した。竹富町におけるがん医療の在り方について、竹富町副町長及び関係者らと協議した。

また、講師をされる竹富町立 竹富診療所の医師とも同様の協議を行った。  
その後、地域の住民を対象にがん情報提供の講演会および相談会を実施した。

### ■竹富町におけるがん医療の在り方についての協議

（竹富町役場）

日 時：令和2年11月26日（木）14：50～15：20

場 所：竹富町役場

出席者：竹富町 副村長 大浜 知司 様  
竹富町役場 健康づくり課 課長 上野 エミ 様  
竹富町役場 健康づくり課 係長 古見 用介 様  
琉球大学病院がんセンター センター長 増田 昌人  
琉球大学病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

（竹富町立 竹富診療所）

日 時：令和2年11月26日（木）16：35～17：10

場 所：竹富町立 竹富診療所

出席者：竹富町立 竹富診療所 医師 寺内 貴廣 様  
琉球大学病院がんセンター センター長 増田 昌人  
琉球大学病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

### ■がん情報及び地域がん医療説明会「もしも竹富島でがんになったら」

日 時：令和2年11月26日（木）20：00～21：30

場 所：竹富島まちなみ館

参加人数：23人

内 容：(1) 講演「がん情報のさがし方勉強会 in 竹富島」  
琉球大学病院 がんセンター長 増田 昌人  
(2) 講演「竹富島でのがんの付き合い方」  
竹富町立 竹富診療所 寺内 貴廣 様  
(3) 質疑応答

### ■個別相談

日 時：令和2年11月26日（木）21：30～21：40 ※講演会終了後

場 所：竹富島まちなみ館

相談者：1人

※感染対策として、入場時に、入口にて手指のアルコール消毒、受付で検温・体調確認・連絡先の記入をお願いした。記入用ボールペンは、“消毒済”と“使用后”の分けて設置し、常にアルコール拭きで消毒したものを使用してもらうようにした。  
また、席は間隔を空けて1席ずつ配置し、資料も事前に席へ配布しておいた。  
会場内はエアコンを使用した。窓や扉を解放して換気するようにした。



**国民の2人に1人はがんになる時代です。**  
 いざというとき、自分の納得いくかたちで  
 病気と向きあうために、がん治療の現状も  
 交えながらお話しします。  
 もしもに備えて考えてみませんか？  
 どなたでも、お気軽にご参加ください。



# もしも竹富島で がんになったら



がん専門医が伝える  
 病院・診療所の上手なかかり方



竹富町のみなさまへ  
 がん診療の疑問や不安を解消する説明会を  
 竹富島で開催します。  
 地元の診療所でどんな治療ができるのか、  
 がん情報さかしのコツを、専門家の立場から  
 お話しします。  
 がんはすべての人にとって身近な病気です。  
 情報は“力”となり療養生活を支えます。  
 まずは「知る」ことから始めませんか。

琉球大学病院 がんセンター長  
 増田 昌人

## 【説明会】

※終了後、希望者には医師による個別がん相談対応あり

- ・竹富島でできるがん医療について 竹富町立 竹富診療所 寺内 貴廣先生
- ・病院のかかり方、情報の集め方 琉球大学病院がんセンター長 増田 昌人

日時：**11月26日(木)午後8時～9時30分**(午後7時半開場)

場所：**竹富島まちなみ館**

対象：竹富町にお住まいのみなさん 参加費：無料

主催：琉球大学病院がんセンター 沖縄県がん患者等支援事業



◆◆◆ 新型コロナウイルスの状況により延期や中止の場合もあります ◆◆◆

内容に関するお問い合わせ：琉球大学病院 がんセンター ☎ 098-895-1531

- 広報手段：竹富島公民館及び区長会の協力で、チラシを全世帯へ配布  
 公民館及び診療所、島内掲示板へのポスター掲示  
 防災無線による島内放送  
 竹富診療所による来院者への周知  
 竹富町役場によるポスター掲示・来訪者へのチラシ配布

増田先生スライド表紙など

**がん情報のさがし方勉強会  
in 竹富島**

**「おきなわがんサポートハンドブック」  
「がん患者さんのための療養場所ガイド」**

琉球大学病院 がんセンター  
増田 昌人

寺内先生スライド表紙など



**私からのがん医療についての提案 in 竹富島**  
＜診断から治療まで＞

1. 毎年、決められたがん検診(胃, 大腸, 肺, 子宮, 乳房)は受ける。  
異常があると通知がきたら、先ずは竹富町立竹富診療所で相談する
2. 診療所から、県立八重山病院または石垣島徳洲会病院に紹介してもらおう
3. 県立八重山病院または石垣島徳洲会病院を受診し、石垣で治療を受けられるかを相談する
4. 石垣で治療ができれば、石垣で治療を受ける
5. 本島で治療を受ける場合は、必ず県立八重山病院または石垣島徳洲会病院から紹介状を書いてもらい、それを持って、本島の医療機関を受診する

診療所は身近で、すぐ診てもらえるところ

皆さんの病歴・生活環境も把握しやすく、適切な病院を紹介できる

紹介状があると、担当医が状態を理解でき、適切な検査・治療が早く受けられる

2020/11/26      がん情報のさがし方勉強会in竹富島      13

④運動をしよう

毎週火曜日は運動の日！

JOY BEATや卓球など皆さんと一緒に身体を動かしましょう！

いつもの『あるけあるけ』も！

**私からのがん医療についての提案 in 竹富島**  
＜治療終了後＞

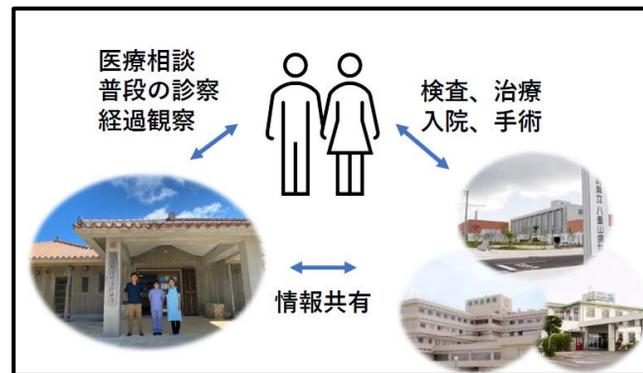
1. 県立八重山病院または石垣島徳洲会病院での治療が一過り終了したら、竹富診療所に紹介状を書いてもらう
2. がんの経過観察は、県立八重山病院または石垣島徳洲会病院と、竹富診療所で共同で行ってもらう  
(がん以外の病気が診療所で今まで通り診てもらおう)
3. 本島で治療を受けた場合は、①県立八重山病院、②竹富診療所の両方に紹介状を書いてもらう
4. がんの経過観察は、県立八重山病院と竹富診療所で共同で行ってもらう  
(がん以外の病気が診療所で今まで通り診てもらおう)

病院と診療所が連携して、治療や経過観察が行える

経過観察は診療所で可能であり、普段の皆さんを知っているのだから小さい変化にも気づきやすい

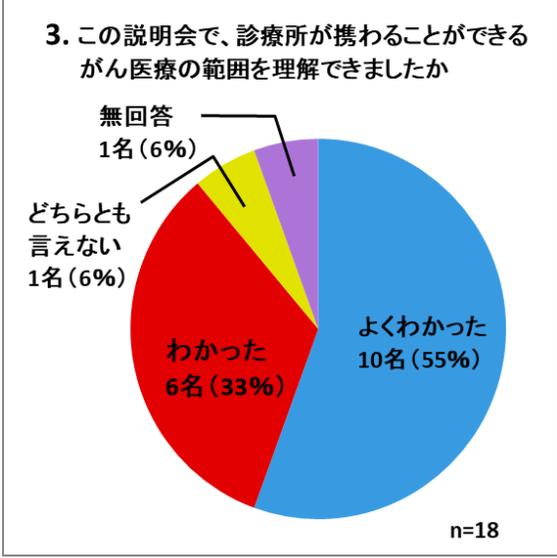
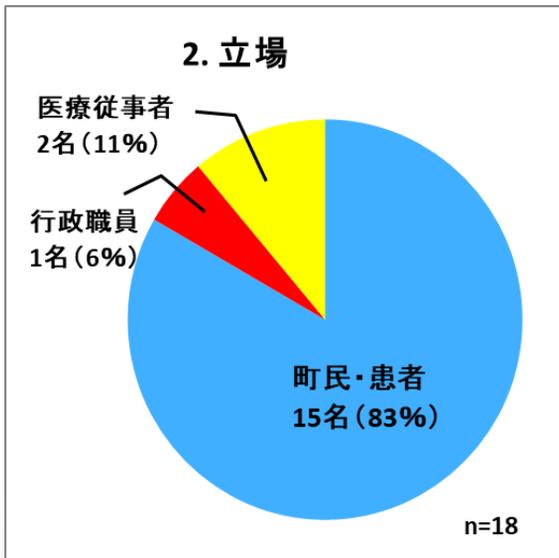
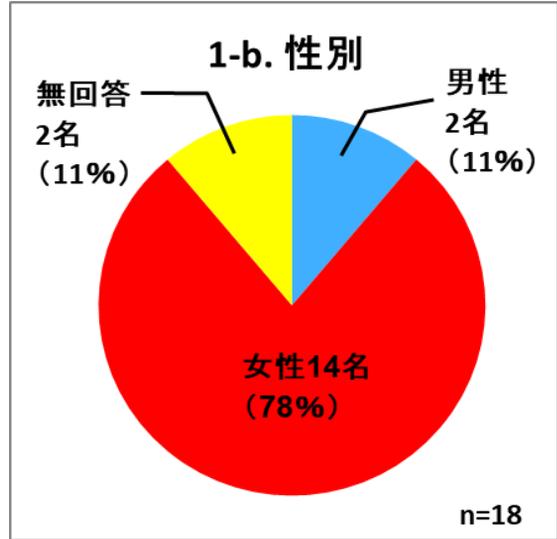
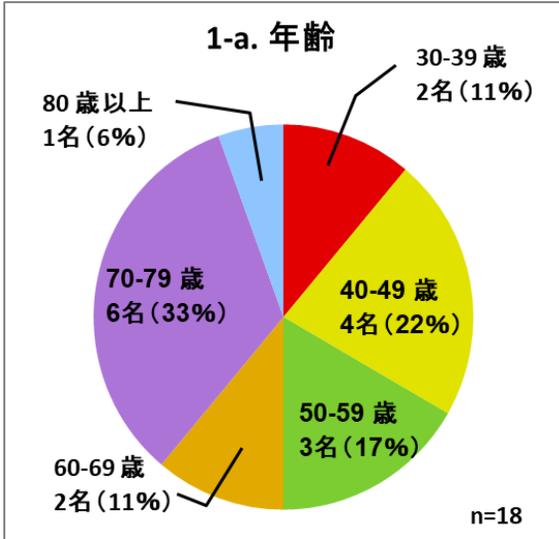
大きな定期検査(年に1~2回)は病院、いつもは診療所で診てもらおう、一番安心

2020/11/26      がん情報のさがし方勉強会in竹富島      14



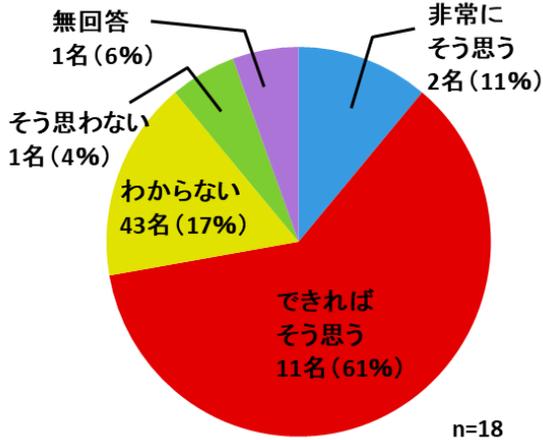


参加者23人 アンケート回収18人 アンケート回答率78%





4. もし身内が、がんなどを患い自宅で最期を希望されるとき、自宅で見取りたいですか



5. 4の理由を教えてください。

負担が大きいのではないかと不安がある。  
希望はかなえたいが、患者と家族双方の負担の大きさが不安。

本人の希望だから。

うまれ育った島で、住みなれた島で、最期をむかえることは希望。

まずは本人の希望があれば、使用可能な社会資源を確認して、サポート体制が確立できれば、したいと思う。

気持ちや心がたえられるか分からない。

本人の希望を優先したい。

人生の最終末期、最期は願いをかなえてあげたい。  
一緒に過ごすことで少しでも気持ちを和らげてあげたらと。また、自身も希望するかも…

本人の希望が大切ですが、住みなれた家・島で最期をむかえられることは安心できるのでは。

病院など身内のいない所で死をむかえてほしくない。  
安らかにその時をむかえてほしい。

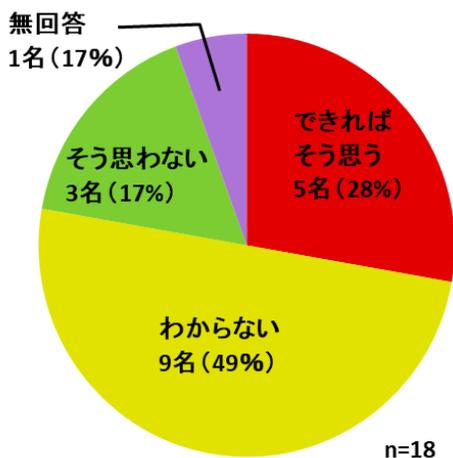
本人の希望があれば自宅。

常に側でサポートしてあげたいから。

本人の希望だから。

本人の希望どうりにしたいと思います。

6. ご自身が、もしがんなどで最期を迎えるとき自宅で迎えたいですか



7. 6の理由を教えてください。

家族にも医療機関にもできるかぎり面倒をかけたくないのですが、その観点から何がベストかが分からない。

病院や施設の方が、ケア体制は整っていると思うが、自宅の方が精神的には落ち着くと思うので、その時の気持ちで考えたい。

家族にめいわくをかけたくないけど、住み慣れた家が安心なのかなと思う。

実際になってみないと分からないことが。

迷惑になる。

家族と共に暮らしたい。

金せん面、肉体系、精神面でも息子や娘達にふたんをかけたくないので、寝たきりになって(長期)しまうのでは、病院等へ行きたいと思う。寝たきりでないのなら自宅を希望したい。

身内と相談して考えたい。

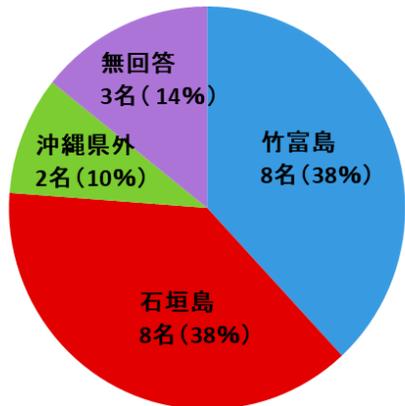
看護する人が負担になるかな？

家族の対応が不安。

子供達にはめいわくとは思いますが、自分の家の方が安心です。

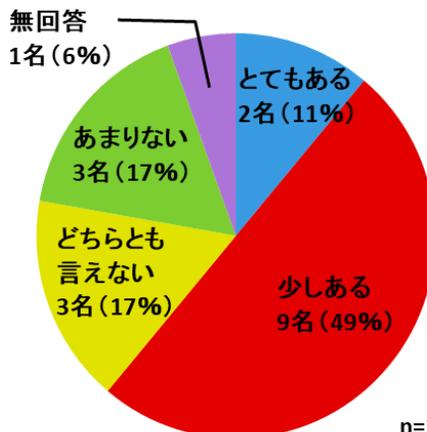


8. もしあなたががんになったら、  
どこで治療したいと思いますか



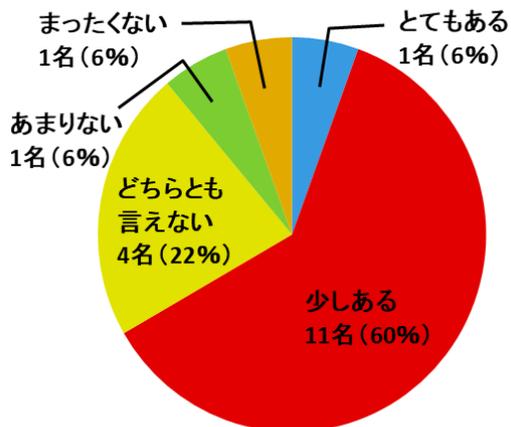
(複数回答)

9. がんになったとき、竹富島で  
治療することに不安はありますか



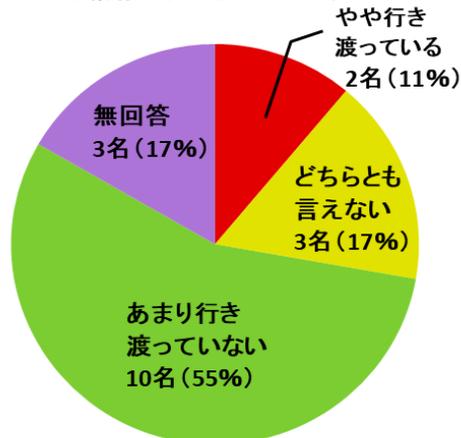
n=18

10. がんになったら、石垣島で  
治療することに不安はありますか



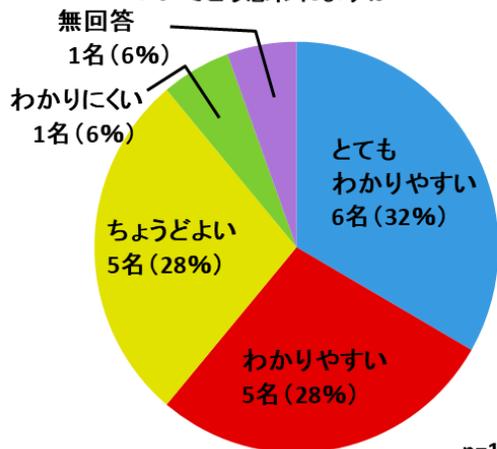
n=18

11. 竹富島では、がんの療養について  
十分な情報が行き渡っていますか



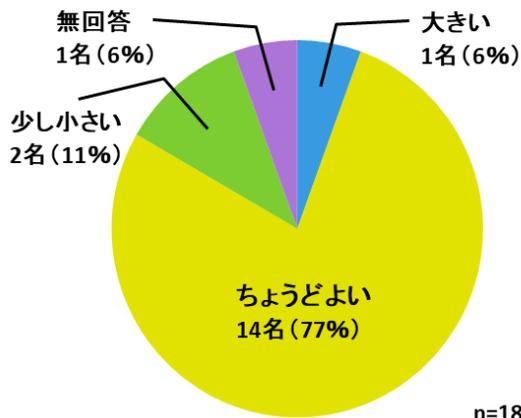
n=18

12. がんサポートハンドブックの内容に  
ついてどう思われますか

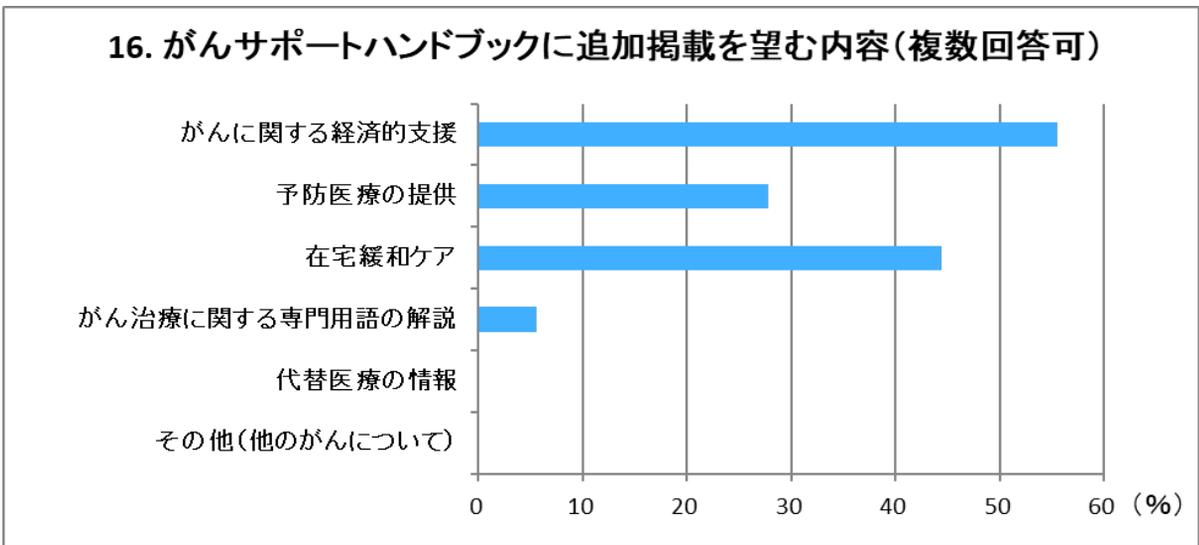
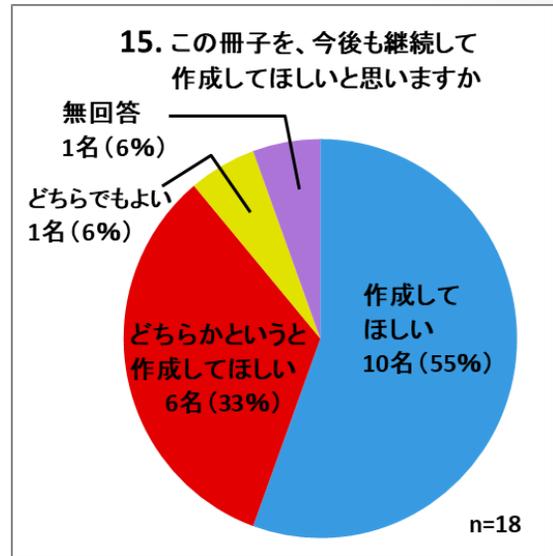
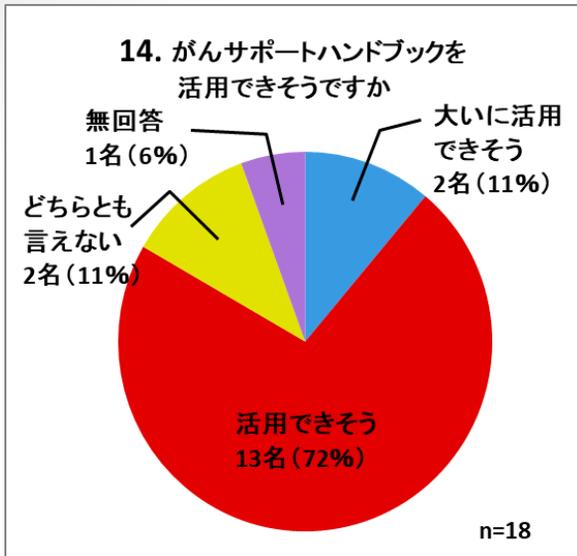


n=18

13. がんサポートハンドブックの文字の大きさ  
(フォントサイズ)についてどう思われますか



n=18



- 17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。**
- 離島では、がん治療は難しいのではないかと考えていたので、そうではないと知れて良かったです。
  - わかりやすく聞きやすかったです。ありがとうございました。
  - インターネットの情報に気を付けます。とても勉強になりました。
  - がんに関する情報等が更新された時(3~5年後?)に、ぜひ又講話を行っていただきたいです。
  - むづかしい用語を使っていないのでとても分かりやすく親しみやすかったです。ありがとうございました。
  - わかりやすく、自分の生活みなおそう。検診・健診をうけよう!
  - 定期的な講演会の開催をしてほしい。

# ○ 当日の様子（意見交換）

## ■ 竹富町におけるがん医療の在り方についての意見交換

（竹富町役場）

竹富町 副村長

竹富町役場 健康づくり課 課長

竹富町役場 健康づくり課 係長

大浜 知司 様

上野 エミ 様

古見 用介 様



（竹富町立 竹富診療所）

竹富町立 竹富診療所 医師

竹富町立 竹富診療所 看護師

竹富町立 竹富診療所 事務

寺内 貴廣 様

岡村 幸江 様

友利 由紀 様



■ がん情報及び地域がん医療説明会 もしも竹富島でがんになったら  
 講演：「がん情報のさがし方勉強会 in 竹富島」  
 琉球大学病院がんセンター長 増田 昌人



講演：「竹富島でのがんの付き合い方」  
 竹富町立 竹富診療所 寺内 貴廣 先生



質疑応答



閉会の挨拶：  
 竹富町役場  
 古見 用介 係長  
 大西 暁子 保健師

受付：ご協力の皆様  
 手指アルコール消毒、  
 検温、体調確認



